



# Yonago East Weekly

「自分にチャレンジ！自分に奉仕！そして、ロータリーを楽しもう！」

- 創立／1968年4月24日 ●事務所／米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
- 例会日／水曜日12:30～13:30 ●例会場／ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
- 会長／小谷維夫 ●幹事／永島清孝 ●会報／足立博俊

会員数86名

## 今週のお祝い

本人誕生祝： 3日伊藤慎哉君 5日足立博俊君  
6日面谷博紀君 16日関充宏君 18日中村剛士君  
22日松浪昭二君 26日安井峰男君

## 会長挨拶

皆さまこんにちは。先週末は春の嵐で桜もかなり散ったようです。7日の日曜日に、ここサンルートにおきまして米子中央RCの20周年記念式典がありました。米子東RCがスポンサークラブとなっており、私と永島幹事が出席いたしました。式典には、70名の出席がりましたが、地区代表として杉原ガバナー補佐、4RCの会長、幹事も出席されていました。

米子中央RCは、1993年4月に創立されており、現在会員数35名と規模は小さいですが、まとまりのよい家庭的な雰囲気を持ったクラブであります。当日は、地区を代表として杉原ガバナー補佐の祝辞、続いて吉田会長からスポンサークラブである当クラブへ感謝状贈呈がありました。続いて、スポンサークラブとして祝辞を申し上げました。当日は、友好クラブとして、高知中央RC、津山中央RCが「中央RC」という名称つながりで代表の方々が来ておられました。また、台湾の台中東北RCとの姉妹締結調印式もあり、その後、賑やかに、和やかに祝賀の宴が開かれ、とても楽しい親睦のひと時を過ごしました。創立20年ということで、米子中央クラブも本当に立派なクラブに自ら育てられたようです。

また、当日は、久々に5RCの会長・幹事が顔を合わせ、お互いに「もう少しですねえ」と言いながら祝賀の宴を楽しんでまいりました。

さて、14日の日曜日は、倉吉でIMがあります。第1部には「グッド・ロータリークラブ」とのテーマでパネルディスカッションがあるようです。楽しく、気軽に話を伺って、ご自分のより楽しいロータリーライフの参考にさせていただけたらと思います。皆で、気軽に行って、気軽にIMを楽しんでいきましょう。ありがとうございました。

## 幹事報告

1. 4/7米子中央RC創立20周年記念式典  
(G補佐・会長・幹事出席) 感謝状他拝受
2. 5/15 職場訪問 山陰労災病院「ミニ人間ドック」
3. 6/8 第4回ガバナー補佐会 (倉敷蔵ぷーら)
4. 第36回IA地区大会報告書拝受 (倉吉東RCより)
5. 創立50周年記念誌拝受 (境港RCより)
6. 第30回 全国RC野球大会のご案内
7. 例会変更のお知らせ  
倉吉中央RC 4/17(水)職場例会  
ビジター受付あり



4/14 IM (倉吉未来中心)  
米子東RC コ・ホストクラブ

## 次回プログラム

- 4/17 (仮) 「我が人生」  
プロゴルファー 大山ゴルフクラブ支配人  
平石武則氏
- 4/24 「私の職業 拡大版」 横田政明会員



Peace Through service

奉仕を通じて平和を

## < プログラム >

### 「私の職業」

#### 高田 泰司 会員



こんにちは、私は平成23年9月に入会させていただきました。「私の職業」ということですが、簡単に言いますと携帯電話の販売代理店でございます。昭和62年に「日本の電話を安くする」のキャッチフレーズで市外電話を中心にサービスを提供していました当時のDDI代理店に入社しまして、その後、携帯電話の普及に伴い平成13年に独立、その後四国の代理店と合併、そして、生き残りをかけ神奈川の大手家電量販店のノジマの傘下に入り、現在は中止国でauショップを30店舗運営管理させていただいています。米子で言えば、角盤町にお店がございます。松江は9号線沿いの西津田にあります。鳥取はJR湖山駅の前、出雲、浜田はゆめタウンの中、倉吉はパープルタウンの中にショップがございます。あと、香川は高松を中心に12店舗、愛媛には7店舗、高知3店舗、徳島1店舗に展開しています。

携帯電話のスタートと言いますと昭和54年に当時の電電公社様が発売された自動車電話が移動電話としては最初です。その後、昭和60年にNTT様がシヨルダ型（シャトル）の携帯電話を発売されました。当時は重さ3Kg、保証金20万円、通話料に関して言えば、現在の料金の30倍はするもので、ある一定の方しか利用できなかったと思います。翌年にはポケベルの登場。そして、昭和63年にはDDIセルラーなど新規事業者の参入に伴い一気に価格競争の時代に入ってきました。

一番の普及が加速したのは、昭和4年にPDC方式サービスの開始です。いわゆるデジタル機です。それまでは、アナログ機でしたが、盗聴されやすいなど問題もたくさんありましたが、デジタル化によって改善されました。ただ、通話がプチプチ切れるなど色々なご意見もたくさんいただきました。デジタル化に伴いさらにツーカー様とかも新規参入され、さらに過激な競争が始まり、普及も急加速したのを思い出します。競争の効果もあって平成5年には全国650万稼動、平成9年には2000万稼動、番号11桁化、平成10年には5000万稼動、この頃は寝る暇もなかったほど忙しかったのを思い出します。そして、平成11年には高速通信が可能なCDMA方式の新サービスがスタートしていきました。この頃から携帯ゲーム、音楽のダウンロード、動画転送などができるようになりました。そして、平成17年にはついに1億台突破が実現しました。と同時にスマートフォン時代の突入でありました。皆様もご存知なのは、iPhoneではないでしょうか？ 私どもも販売してまして、この端末は今まで経験したことのないお化け商品です。大体販売構成比10%行くと大ヒット商品なのですが、このiPhoneに関して言えば30%を軽く超えている現状です。そして、半分以上が海外メーカーで占められている現状にあり、ぜひとも国産メーカー様に奮起をしていただき、シェアを奪還していただきたいと販売する側としては思っています。

そして、平成20年には、NTTドコモ様がLTE方式の新サービスを開始されます。KDDIもソフトバンクも23年、24年と続けてサービスを開始して、更なる高速通信を実現しています。端末で映画をダウンロードして見ることができる。書籍も端末の中に取り込んで読むことができる。ゲームは世界中の方と対戦しながら楽しめる。本当に便利になったかと実感します。ここまで来ると単に携帯電話とは呼びにくいものになっていると思う今日この頃です。まだまだ話し足りないのですが、また、機会がありましたらこの続きをお話させていただければ幸いです。ありがとうございました。

### 「私の職業」

#### 関 充宏 会員



日本旅行の関でございます。平素から日本旅行をご愛顧頂きまして誠にありがとうございます。はじめに、私自身のことからお話させていただきます。私は、和歌山県出身です。海南市という町です。海南市とは、紀州漆器、家庭日用品などの産業が盛んな町です。あまり知られていませんが、炊事、洗濯、トイレなどの水周り品における全国シェアは8割強を占めていると言われています。都会に憧れ高校は大阪、大学は関東へ進学しましたが、なかなか都会になじめず、就職は地元和歌山に戻り、銀行に就職いたしました。私は、外回りの営業職でしたが、社会の仕組みと営業の基礎をきっちり教えていただいたこと、そして、何よりもお金の大事さを教えていただいたことにも感謝しています。銀行に4年間お世話になりましたが、どうしても好きだった旅行会社に行きたくて、中途採用の試験があった日本旅行に転職いたしました。日本旅行は明治38年に滋賀県草津のお弁当屋さんが立ち上げた会社です。高野山、伊勢神宮等神社仏閣の参詣を斡旋する目的に始めたとのこと。明治41年には本邦初の国鉄貸切臨時列車にて善光寺参拝の募集団体旅行を実施しました。お陰さまで平成17年に100周年を迎えさせていただきました。現在、JR西日本グループの一員として108年目を迎えています。

ここからは、私が経験した添乗という仕事についてお話させていただきます。「旅行会社の人はいろんなところに行けていいね」とよくお聞きしますが、一緒にさせていただくまでがけっこう大変です。私も初めての添乗は忘れていません。上司について高校の修学旅行の添乗でした。3泊4日で九州です。出発前に上司から「海水パンツをもってこい」と指示を受けました。5月でしたし、行程表を見ても海に入るような時間もないし疑問はありましたが、上司の命令であり忘れずにもっていきました。その海水パンツが役に立つ時間が初日の旅館の夜にやってきました。生徒さんの入浴時間で、男子生徒が女子生徒の風呂場をのぞかないように監視するのが私に課せられた仕事でした。1クラス15分入れ替えて13クラスあり、約3時間風呂場で監視していました。監視が終了した時にはふらふらでした。海外でも色々な経験をさせていただきました。海外から帰ってきて、日本の空港で飛行機に預けた荷物を引き取る税関のところ。若い方でブランド物の紙袋を両手に持っている目立つ方がいました。この方は免税範囲を超えているなと思いました。しかし、申告をしないでであろうと思いました。そして、ずっとその方の行動を見ていました。その方は、免税の係りの職員さんに案内、靴の中まで開けさせられていました。間違いないかと私は心の中で笑っていました。そして、私の番が来て、通過しようとしたそのときです。遠方から走ってくる別の職員さんが「その人まだ通すな！」と言ってやってきました。「再確認しなさい」と言うことでチェックを受けました。私は怪しいものは持っていませんでしたが、私の不審な行動をどこかで見られていたのです。

本日メインの菓子博の説明をさせていただきます。全国菓子大博覧会はお菓子の歴史と文化を後世に伝えるとともに、菓子業界・関連産業の振興と開催地域の活性化に役立てるため、ほぼ4年に1度全国各地で開催されている日本最大のお菓子の祭典です。会場では、全国のお菓子を集め、展示。販売を行います。また菓匠やパティシエが伝統の技を駆使して制作した「工芸菓子」も多数展示されます。優秀なお菓子には、皇族による「名誉総裁賞」や「内閣総理大臣賞」、「農林水産大臣賞」などが授与されます。全国菓子大博覧会での受賞は菓子業界の中で最高の栄誉とされ、賞をもらうために全国のお菓子屋さんからは日々研鑽を重ねています。会場は、旧広島市民球場跡地です。今回チケットの販売の主幹を日本旅行が請け負っていただいています。GWの家族旅行としてぜひ、菓子博へ、そして、JRさんをご利用していただければ幸いです。よろしく願いいたします。ありがとうございました。